

平成 30 年度シラバス

| 教科 | 科目 | 単位数 | 履修学年・クラス |
|----|------|-----|----------|
| 芸術 | 音楽 I | 2 | 1-1~1-A |

1. 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して創造的な表現の能力を伸ばし、鑑賞の能力を高めると共に音楽に対する豊かな感性と音楽を愛好する心情を養う。
様々な国の音楽を学び人間の多様性と平等の精神を体感し、人権について再認識させる。

2. 学習の計画

| | 学 習 内 容 | 学 習 の ね ら い |
|-------------|--|---|
| 1 学 期 | 発声法の基礎、校歌、応援歌の歌唱指導。 「少年時代」「手紙」 「世界に一つだけの花」 楽典・音楽史と鑑賞(バロック) 歌唱テスト 期末テスト | 音楽の基礎的な知識を学習するため、簡単なポピュラー音楽を歌い、歌唱力、表現力、読譜力を向上させる。 楽典に関する基本的な内容の学習。 音楽の歴史の流れを理解させる。 個々の歌唱力の確認および評価 楽典に関する基本的な学習内容の再確認 |
| 2 学 期 | 「野ばら」(シュベール・ウェルナー)「オーソレミオ」 その他ヨーロッパ、アメリカの音楽 楽典・音楽史と鑑賞(古典派) 歌唱テスト 期末テスト 音楽映画鑑賞 | 地域ごとの音楽の特徴の感得。 各国の音楽を学び、人間の多様性と平等の精神を体感する。 西洋音楽の歴史の流れを理解させる。楽典の理解度を確認する。 個々の歌唱力の確認および評価 楽典に関する発展的な学習内容の確認 合唱曲を学習し、ハーモニーの美しさを体感させる。 |
| 3 学 期 | アジア、アフリカの音楽 楽典・音楽史と鑑賞(ロマン派・近代) 邦楽実習(箏曲) リズムテスト 学年末テスト | 地域ごとの音楽の特徴の感得。 楽典に関する発展的な学習内容の確認。 音楽の歴史の流れを理解させる。 個々のリズム感の確認および評価 楽典の理解度を確認する。 和楽器に親しみ演奏方法を理解させる。 |

3. 評価方法・評価の観点

| | |
|------|------------------|
| 評価方法 | 考査、提出物、授業態度による評価 |
|------|------------------|

| 評価の観点 | 関心・意欲・態度 | 表現の能力 | 理解の能力 | 知識・理解 |
|-------|-----------------------------------|-----------------------------|-------------------------|--|
| 評価の内容 | 音楽文化を尊重し、意欲的、主体的、創造的に音楽活動をしようとする。 | 音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的に表現を工夫する。 | 創造的な音楽表現に必要な技術を身に付けている。 | 音楽を幅広く理解し、それぞれの音楽の特徴を的確に聴取するとともに、そのよさや美しさを深く味わう。 |

4. 使用教科書・副教材

| | |
|-------|----------------------------|
| 使用教科書 | 高校音楽 改訂版 Music View (教育出版) |
| 副教材 | Music Note 基礎から学ぶ高校音楽 |